

本校から上級学校への進学について

R1.5.18(土)

福井県立坂井高等学校進路指導部

1. 志望校を決定する際の心構え

日本全国に大学・短期大学は1000校以上あります。その中からお子さんが自分に合った学校を見つけるためには、イメージや偏差値だけで考えるのではなく、親子で様々な視点から検討することが必要です。また、お子さんが高校時代に納得のいく志望校選びができたかどうかは、その後の学生生活の満足度や、将来の職業選択にも大きく影響します。

将来「あの時こうしていれば」という後悔をすることがないように、校種や学部・学科選びのポイントをいくつか紹介します。

(1) 職業と学問とのつながりを理解する。

例えば、「将来就きたい職業が医師ならば、医学部に進む」というように、さかのぼると選択すべき校種・学部がおのずと決まってくることがあります。お子さんの希望職種を見据え、その学校で取得できる資格や卒業生の就職先などを参考にしてください。学校のHPやパンフレットで紹介されています。

(2) 立地や雰囲気を確認する。

学風が合うかどうかは、見落としがちですが大切な観点です。小規模でアットホームな学校と、大規模マンモス校では校風が違います。また、交通の便が良い都市型のキャンパスと、豊かな自然に恵まれた郊外型のキャンパスでは、立地による雰囲気の違いがあります。ぜひ親子でオープンキャンパス等に足を運んでみてください。加えて、一人暮らしを想定する場合は、物価や家賃の相場など、保護者ならではの観点で学校周辺の様子を調べてみてください。

(3) 「進学にかかるお金」について話し合う。

進学する学部によってかかる学費は異なります。また、志望先が通学圏内でない場合は、一人暮らしのための生活費も考える必要があります。近年、私立大を中心に奨学金制度が充実しています。お子さんが私立を希望する場合、「お金がかかるからNG」と決めつけずに、奨学金情報を集めてみることをお勧めします。一度、進学にかかるお金のシミュレーションを行うと安心でしょう。

○速報 2020年4月 福井県立大学 新学科設置について

福井県立大学に、2020年4月より「農」を幅広く学ぶことの出来る新学科が設置されます。学習内容は、新品種育成技術・農環境保全・食品製造や流通、等です。就職先は、農業や環境に関する企業(起業)、地方自治体、高校教員等を想定しています。現3年生が入学する年度から、生物資源学部として、新たな選択肢が増える予定です。

2. 本校からの進学について

本校から大学・短大・専門学校等に進学する場合は、カリキュラムが一般入試に対応していないため、推薦入試を利用するのが一般的です。ここでは、推薦入試およびAO入試を使用する際のポイントについてまとめます。

(1) 推薦入試の種類

AO入試	AOとは、アドミッションズ・オフィスの略で、学校側が求める学生像(アドミッション・ポリシー)に合っているかどうかや、学びへの意欲や関心・適性を重視して選考する入試です。選抜方法は学校ごとに異なりますが、いずれも強い志望動機が必要です。大きく分けて面接重視型と論文重視型がありますが、どちらの場合でも志望理由や入学後の目標などをまとめた志望理由書が必要です。AO入試では、受験生の人格や意欲や目標と大学側が求める人物像が合っているかをじっくりと時間をかけて選考されるのが特徴です。
公募制推薦	各学校の出願条件を満たし、高校からの推薦書を提出して受験する推薦入試です。高校での学業成績が問われるので、日々の学習で成果を出していることが必要です。主に面接や小論文が課されますが、学科試験が課される場合もあります。併願と専願があり、専願の場合は合格したら必ず入学することが前提です。
指定校推薦	大学・短大・専門学校が特定の高校を指定して実施する選抜方法です。出願希望者は、高校の中での選考を経たうえで高校の代表として出願します。出願後の合格率はほぼ100%ですが、募集人員が少なく、校内選抜を経て推薦枠を手にするのは狭き門です。校内選抜では、日々の学習や部活動、生活態度など、3年間の高校生活を総合的に評価します。なお、選考は小論文と面接のみの場合が多くなっています。合格後は高校の代表として入学するので、気を抜かずに大学生活を送ることが求められます。
公募制特別推薦	専門課程推薦・スポーツ推薦・有資格者推薦・課外活動推薦などが行われる学校も存在します。各校の募集要項を見るか、担任の先生や進路指導部の先生に問い合わせてください。(なお、入試の要項は例年5月以降に順次発表されます)

(2) 出願資格

各学校の推薦入試に出願するためには、出願条件をクリアしていることが前提になります。以下に一般的に出願条件として課されるものを示します。

①「成績」

通知表の成績を5段階評価に置き換えたもの(評定)の全て(あるいは特定の教科)の平均値を参考にされます。特に、進学においては一定値以上を要求する場合はほとんどです。

②「欠席」

欠席日数が多いと不利です。欠席日数の上限を指定している学校もあります。

(少なくとも3年生での欠席や遅刻はなくしましょう)

③「資格取得」

職種や学科・コースによっては、資格取得により選択の幅が広がる場合があります。

④「特別活動」

部活動や生徒会活動、ボランティア活動に熱心に取り組んだ生徒は高く評価されます。

【よくある質問】

Q. 「評定平均値」「学習成績概評」とは何のことですか？

A. 推薦入試の出願条件の際に評価対象となる、高校での成績を数値などで表したものです。「評定平均値」とは、高1～高3の1学期までに履修した科目の評定（5段階で示した成績）を全て合計して、全科目数で割った数値です。「学習成績概評」とは、評定平均値をA～Eの5段階評価で表したものです。評定平均値には、定期テストの成績が大きく影響しますので、日ごろからしっかりとした取り組みが大切です。

全体の評定平均値	学習成績概評
5.0～4.3	A
4.2～3.5	B
3.4～2.7	C
2.6～1.9	D
1.8以下	E

<進学用調査書の一例（一部抜粋）>

2. 各教科・科目等の学習記録													
教科・科目		評定				修得単位数	教科・科目		評定				修得単位数
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年				第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
国語	国語総合	4	4			6	家庭	家庭基礎					
	現代文A			4		2		生活デザイン	5	5			4
	現代文B							農業と環境	5				3
地理歴史	世界史A			5		2	課題研究		4	5		6	
	地理A		5			2		総合実習	5	5	4		9
公民	現代社会	5				2	農業情報処理		4	3		4	
								作物		5			2
数学	数学I	5				3	農業	野菜	5	5		4	
	数学II		4	5		4		果樹		5			2
	数学A							草花		5	5		4
	数学B							農業機械					
理科	科学と人間生活	5				2	食品製造			5		2	
	物理基礎						植物バイオテクノロジー	5		5		4	
	化学基礎		5			2	栽培環境				4	2	
3. 各教科の評定平均値		国語	4.0	5.0	5.0	4.7	5.0	4.0	5.0	3.7	5.0	4.7	全体の評定平均値
4. 学習成績概評		段階	A	5人	B	15人	C	14人	D	1人	E	0人	合計
													35 (265人)

全科目の評定の合計 ÷ 全科目数 = 4.5

3. 推薦入試で課される試験内容について

- ① 「志望理由書」または「自己推薦文」（書類審査）
その学校になぜ行きたいかを詳細に述べた書類です。出願の際に願書と一緒に提出します。推薦入試の可否を左右する重要な書類と言えます。
- ② 「面接」
出願書類の内容に沿って質問されます。受け答えの内容はもちろん、礼儀作法も見られます。
- ③ 「小論文」または「作文」
600字～800字程度の小論文（または作文）が課されます。与えられたテーマについて論じるものや、文章を読んでその内容について論じるものがあります。
- ④ 「学科」 国語・英語などの基礎学力を問う試験を課す学校もあります。

4. 今後のスケジュールについて

月	進路スケジュール	入試準備	受験対策
4月	進路模試①（10日） 進路希望調査 進学ガイダンス（18日） 進学講話（25日）	・志望学問分野の絞り込み（資料取り寄せ、受験先調べ） ・志望大学のオープンキャンパスや公開講座などに参加	・基礎学力の充実 ・評定平均値アップラストチャンス（3年1学期の成績） ・最後まで部活をやりきる ・生徒会活動やボランティア活動に積極的に参加
5月	PTA 総会（保護者対象説明会）（18日）	・早いところはオープンキャンパスでAO入試のエントリー開始	・受験校対策指導開始
6月	進路模試②（6日） 面接ガイダンス（20日）		・小論文模試（学力向上講座） ・学科試験対策指導 ・新聞記事のファイル作り …時事問題に注目
7月	SPI模試（10日） 三者面談（17・18日） 学力向上講座（小論）	・進学希望調査票を提出（三者面談）	
8月	学力向上講座（小論） 校内選考（随時）	・進学相談会やオープンキャンパスに参加 ・受験校の募集要項取り寄せ	・志望理由書および自己推薦書の作成
9月	進路模試③（3日） クレバリン検査練習（6日） 出願準備	・入試日程、受験科目の確認 ・公募制・指定校推薦希望者 → 推薦願を提出	
10月	※10/1～10/3 学校祭 面接・小論文対策 推薦入試スタート（専門学校）	・出願書類 → 出願締切の2週間前までに担任に提出 ・受験料振込み	・面接練習（過去の受験報告書参考） ・小論文対策 ・過去問による実力チェック
11月	推薦入試スタート（四大短大）	・合否報告 ・諸手続 学納金納入 ・合格者用課題に取り組む	・受験報告書を提出